

背中、手足へと広がります(写真2)。39~40℃台の高熱は、その後3~4日続きますので、発症から考えると1週間から10日くらいの期間、38℃以上の熱が出ていることになり、せきもひどく、体力はかなり消耗してしまい入院を要することもまれではありません。

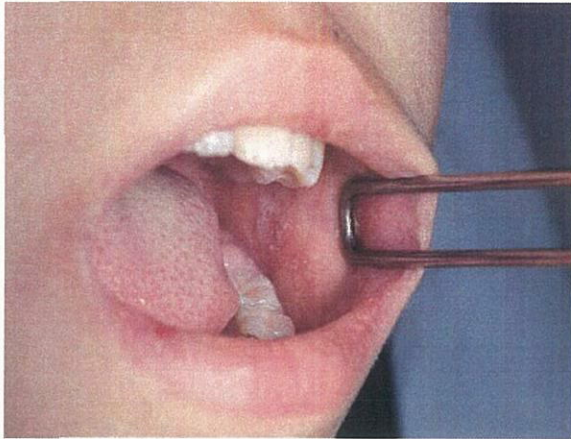
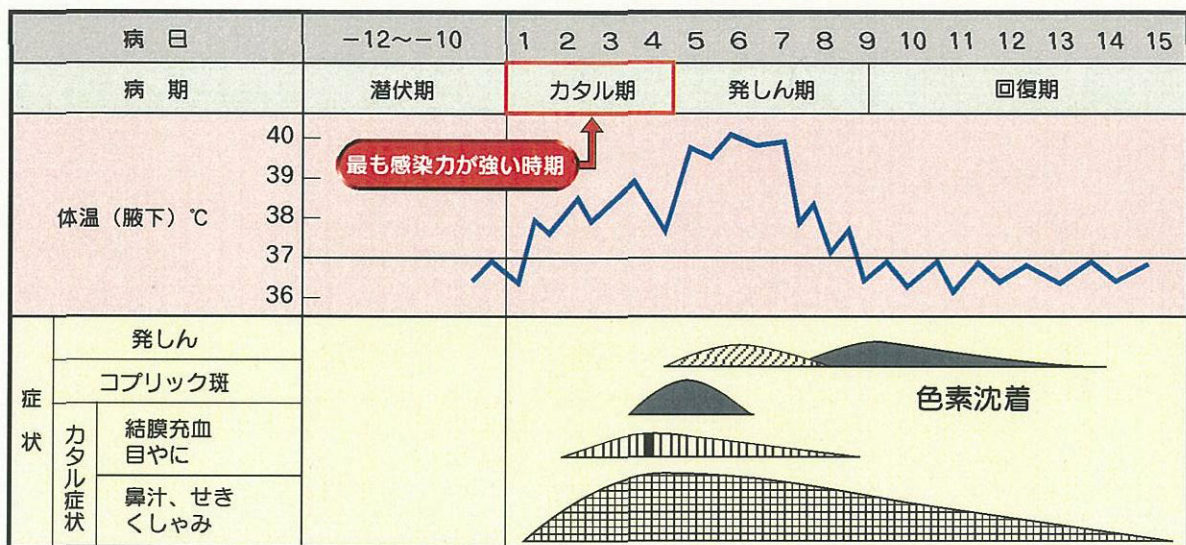


写真1 コプリック斑
(撮影：岡部信彦氏)



写真2 麻疹の写真
(撮影：馬場宏一氏)

麻疹(はしか)の症状



藤井良知、西村忠史、中村健：小児感染症学、第1版、南山堂、東京、1985、pp.14より改変

免疫機能低下状態が数週間にわたって続く

麻疹であることに気づかず行動



感染を広げる